

2016年7月25日

**ウェザーニューズ、2016年スギ・ヒノキ花粉飛散状況のまとめを発表
今年の花粉は暖冬でスタート早く、飛散は“ダラダラ継続型”
飛散量は去年の55%と少なくなるも、昨年よりツライ症状続くシーズンに**

株式会社ウェザーニューズ(本社:千葉市美浜区、代表取締役社長:草開千仁)は、2016年の花粉飛散状況および花粉症状の総括を発表しました。花粉症に悩む一般の方や企業、病院などの協力のもと、全国に設置しているオリジナル花粉観測機「ポールンロボ」にて計測された花粉飛散量と、その周辺に住む花粉症の方約1万人の症状をまとめました。飛散量は2015年夏の天候不順などが原因で平年比30%・昨年比55%にとどまりましたが、その割に症状は緩和されず、むしろ2015年よりもツライ症状を感じる割合が多くなりました。暖冬の影響で花粉の飛散のスタートが早く、かつダラダラ継続したため、ツライ症状が長い期間続いたことが理由として挙げられます。

【スギ・ヒノキ花粉飛散傾向のまとめ】

◆今年の花粉飛散量は2015年夏の天候不順で昨年比55%に

2016年春のスギ・ヒノキ花粉の飛散量は、全国で平年(2008-2015年の平均)の約30%と少なくなりました。平年比が1番高かった秋田でも103%と平年並、次いで青森が74%、広島が65%と46都道府県は平年を下回る花粉量でした。

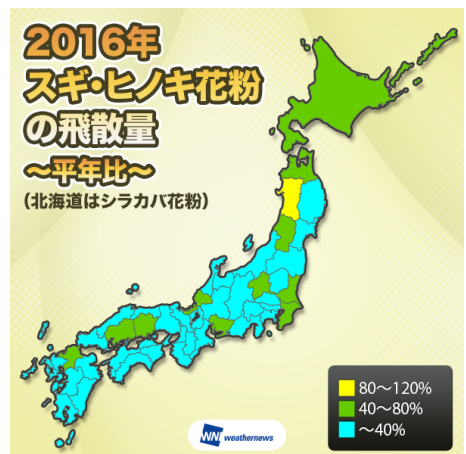
また、去年の飛散量と比較すると、佐賀で207%、福岡で128%、北海道で109%など一部で飛散量が昨年より多かったエリアはあるものの、全国平均では去年の55%となりました。

九州北部や北海道で昨年より花粉の飛散量が多くなった要因として、北海道は花粉が放出されやすい“表年”であったこと、九州では2015年の夏が2014年の夏よりは日照時間が長かったことが挙げられます。一方、九州南部～東北で昨年より飛散量が少なかった要因は、東北・東日本では花粉が放出されにくい“裏年”であったことと、2015年の夏が西日本ほど曇りや雨の日が多く、雄花の生育に不向きな天候であったことなどが挙げられます。

◆暖冬の影響で、スタート早く“ダラダラ継続型”に

*** 暖冬の影響で年明け早々に発症した人も**

今冬は、12月～1月上旬に平年よりも暖かい日が多く、暖冬傾向となりました。この影響で、ごく少量のスギ花粉が昨年よりも早い時期から飛散し、例年はほとんど症状報告が届かない1月上旬に、西～東日本の非常に敏感な花粉症の人から飛び始めを感じたという報告が寄せられました。



* 全国的な花粉シーズン突入は2月中旬

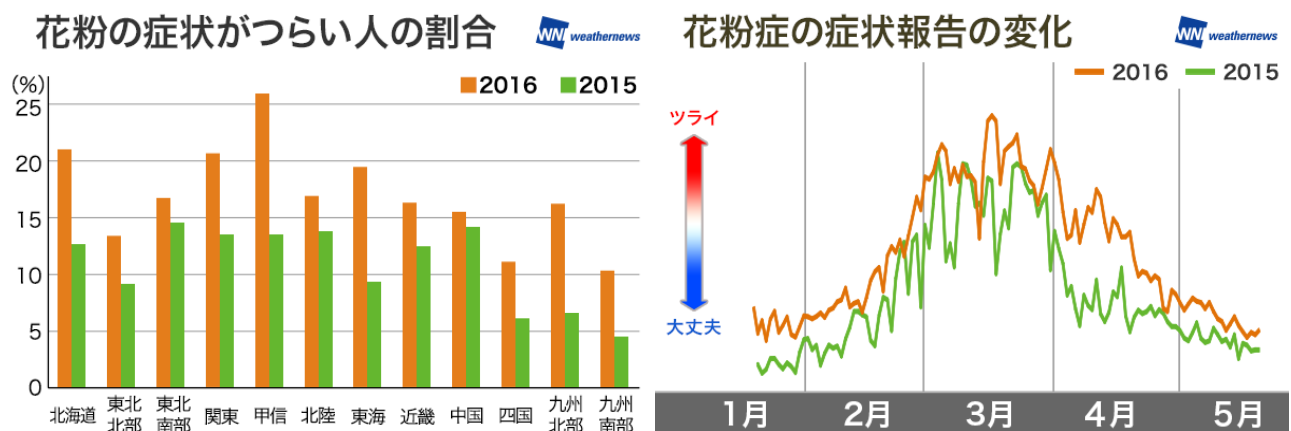
ただ1月の段階では本格的な症状の悪化をもたらす飛散量には至らず、全国的な花粉シーズンに突入したのは2月中旬でした。1月にごく少量の花粉が飛び始めてからすぐに花粉シーズンに入らなかったのは、暖冬の影響でスギの雄花が花粉飛散に向けて目を覚ます「休眠打破」が遅れたためと考えられます。スギの雄花は寒さを経験することにより、休眠を終えて花粉飛散の準備に入ると言われています。1月初めまでに休眠打破を終えたスギの雄花はわずかで、大部分は1月後半の記録的な寒波によりようやく休眠打破をしたと考えられます。そして、その後の暖かさで雄花が開花にむけて生長し、2月中旬から全国的な花粉シーズンに突入したようです。

* 今年の花粉飛散は“ダラダラ継続型”

花粉シーズン中は、暖かい日や風が強い日を中心にスギ花粉が多く飛びましたが、関東や近畿を中心に昨年より風が弱く花粉が広範囲に拡散しにくかったためか、花粉の飛散が低調となりました。短期間での大量飛散が少なくなった分、特に関東では4月中頃までスギ花粉が多く飛ぶ日があり、今年はダラダラと飛散が継続したシーズンとなりました。

◆ 飛散量は少なくともダラダラ継続型で、ツライ症状も長引く

花粉症の症状を調査するため、スマホアプリ「ウェザーニュースタッチ」内のウェザリポーターの協力のもと、「非常にツライ」「ツライ」「ややツライ」「大丈夫」の4つから選んで日々症状を報告してもらいました。全国10,014名から寄せられた約13万通の症状報告から、「ツライ」「非常にツライ」を選択した方の割合を調べました。



今年の花粉飛散量は昨シーズンよりも少ない所が多かったものの、症状はあまり緩和されず、むしろ2016年の方が2015年よりもツライ症状の割合が増えています(左のグラフ参照)。右のグラフは、2016年と2015年のシーズンを通しての症状報告の変化(東北～九州)を示しています。症状報告を比較すると、1月下旬～2月上旬、4月上旬～中旬に2016年の方がツライと感じている方の割合が多いことがわかります。

この理由としては、今年暖冬の影響で1月のうちからごく少量の花粉が飛び始めたのに加えて、顕著な大量飛散がなかった分、4月以降も継続的に花粉の飛散が続いたことが挙げられます。特に関東ではスギ花粉の本格シーズンが昨年よりも10日程長くなりました。このため症状にもメリハリがなく、ツライ症状が長い期間続きました。

◆花粉飛散量と症状報告

都道府県	花粉シーズン中の総飛散数			症状	
	2016年(個)	2015年比(%)	平年比(%)	2016年(%)	2015年(%)
北海道	1442	109	47	21	13
青森県	3521	64	74	10	9
岩手県	1944	36	36	19	15
秋田県	3667	104	103	10	4
宮城県	1407	35	25	17	17
山形県	1668	32	41	22	15
福島県	2692	42	35	16	12
茨城県	4152	78	46	18	11
栃木県	2569	36	32	22	20
群馬県	4939	59	52	23	18
埼玉県	1929	35	22	26	13
千葉県	2641	75	46	22	12
東京都	1788	48	26	20	13
神奈川県	2489	70	38	18	14
山梨県	1306	19	16	31	20
長野県	2043	30	29	23	11
新潟県	1211	27	27	11	7
富山県	917	21	19	13	11
石川県	1728	54	38	48	17
福井県	1982	58	40	7	6
静岡県	1064	15	15	16	12
愛知県	3334	77	58	22	16
岐阜県	1780	54	28	17	9
三重県	1162	66	21	21	13
滋賀県	704	26	15	28	21
京都府	678	28	15	16	15
大阪府	1027	34	23	17	11
兵庫県	1229	42	29	14	12
奈良県	596	34	10	16	13
和歌山県	738	62	20	17	14
岡山県	1627	51	40	9	21
広島県	2640	84	65	21	11
鳥取県	827	56	24	13	33
島根県	706	48	20	11	6
山口県	1108	41	28	19	12
徳島県	1213	54	31	6	7
香川県	770	47	21	16	7
愛媛県	1074	119	31	9	6
高知県	842	54	23	16	7
福岡県	1578	128	43	18	6
佐賀県	1061	207	38	11	3
長崎県	655	72	19	18	8
大分県	492	33	11	24	7
熊本県	812	46	24	9	8
宮崎県	1141	43	27	12	7
鹿児島県	622	45	17	9	3
全国平均(北海道を除く)	1646	55	32	17	12

※飛散量：花粉観測機「ポールンロボ」が観測した花粉の都道府県別の平均を示す
 ※北海道はシラカバ花粉の飛散量。沖縄県は目立った花粉の飛散がないため除く
 ※症状：各県の花粉シーズン中に、“非常にツライ”“ツライ”と回答した方の割合をまとめた結果

◆花粉・本格花粉シーズン開始・終了日

都道府県	開始日		本格開始日		本格終了日		終了日	
	2016年	2015年	2016年	2015年	2016年	2015年	2016年	2015年
北海道	4月21日	4月23日	5月2日	4月28日	5月25日	5月22日	6月5日	6月10日
青森県	3月8日	3月15日	3月15日	3月18日	5月2日	4月28日	5月8日	5月6日
岩手県	3月5日	3月5日	3月8日	3月13日	5月2日	4月27日	5月8日	5月6日
秋田県	3月8日	3月8日	3月17日	3月17日	5月2日	4月27日	5月8日	5月6日
宮城県	2月29日	2月24日	3月8日	3月5日	4月26日	4月25日	5月3日	5月4日
山形県	3月4日	2月24日	3月8日	3月9日	4月26日	4月27日	5月3日	5月6日
福島県	2月21日	2月24日	3月6日	3月5日	4月26日	4月27日	5月2日	5月6日
茨城県	2月10日	2月13日	2月17日	2月25日	4月26日	4月25日	5月5日	5月1日
栃木県	2月10日	2月13日	2月21日	2月21日	4月26日	4月25日	5月5日	5月1日
群馬県	2月10日	2月13日	2月17日	2月19日	4月26日	4月25日	5月5日	5月1日
埼玉県	2月10日	2月13日	2月24日	2月19日	4月26日	4月23日	5月5日	5月1日
千葉県	2月10日	2月13日	2月21日	2月23日	4月26日	4月23日	5月5日	5月1日
東京都	2月10日	2月13日	2月24日	2月24日	4月26日	4月23日	5月5日	5月1日
神奈川県	2月9日	2月13日	2月21日	2月23日	4月26日	4月23日	5月5日	5月1日
山梨県	2月21日	2月13日	2月29日	2月23日	4月30日	4月23日	5月5日	5月1日
長野県	2月27日	2月23日	3月5日	3月5日	5月3日	5月1日	5月9日	5月6日
新潟県	3月4日	2月24日	3月6日	3月8日	4月26日	4月25日	5月3日	5月1日
富山県	2月28日	2月23日	3月6日	3月8日	4月26日	4月22日	5月3日	5月1日
石川県	2月27日	2月23日	2月28日	3月8日	4月26日	4月22日	5月5日	5月1日
福井県	2月27日	2月24日	2月28日	3月8日	4月26日	4月22日	4月30日	5月1日
静岡県	2月15日	2月12日	2月21日	2月20日	4月25日	4月22日	5月5日	5月1日
愛知県	2月17日	2月14日	2月24日	2月19日	4月24日	4月23日	5月5日	5月1日
岐阜県	2月21日	2月21日	2月28日	2月28日	5月3日	5月3日	5月8日	5月7日
三重県	2月21日	2月15日	2月26日	2月23日	4月24日	4月22日	4月30日	5月1日
滋賀県	2月26日	2月23日	3月6日	3月4日	4月24日	4月22日	4月26日	5月1日
京都府	2月26日	2月23日	3月6日	3月4日	4月24日	4月22日	4月26日	5月1日
大阪府	2月26日	2月19日	3月5日	2月23日	4月24日	4月22日	4月26日	5月1日
兵庫県	2月19日	2月19日	3月5日	2月24日	4月24日	4月22日	4月26日	5月1日
奈良県	2月26日	2月23日	3月5日	2月28日	4月24日	4月22日	4月26日	5月1日
和歌山県	2月21日	2月13日	2月29日	2月23日	4月24日	4月22日	4月26日	5月1日
岡山県	2月26日	2月17日	3月5日	2月24日	4月24日	4月23日	4月26日	5月1日
広島県	2月19日	2月19日	3月5日	2月23日	4月24日	4月23日	4月26日	5月1日
鳥取県	2月28日	2月22日	3月5日	2月24日	4月24日	4月22日	4月26日	5月1日
島根県	2月28日	2月22日	3月5日	2月24日	4月24日	4月22日	4月26日	5月1日
山口県	2月19日	2月13日	2月26日	2月21日	4月20日	4月22日	4月26日	4月25日
徳島県	2月17日	2月19日	2月26日	2月23日	4月24日	4月22日	4月26日	5月1日
香川県	2月29日	2月14日	3月5日	2月23日	4月24日	4月22日	4月26日	5月1日
愛媛県	2月17日	2月17日	2月26日	2月23日	4月24日	4月22日	4月26日	4月28日
高知県	2月21日	2月13日	2月28日	2月20日	4月24日	4月22日	4月26日	4月28日
福岡県	2月14日	2月13日	2月26日	2月20日	4月20日	4月16日	4月25日	4月25日
佐賀県	2月16日	2月17日	2月28日	2月24日	4月20日	4月16日	4月25日	4月25日
長崎県	2月13日	2月12日	2月29日	2月24日	4月20日	4月16日	4月25日	4月25日
大分県	2月14日	2月13日	2月29日	2月21日	4月20日	4月16日	4月25日	4月25日
熊本県	2月18日	2月14日	2月28日	2月20日	4月20日	4月16日	4月25日	4月25日
宮崎県	2月10日	2月12日	2月29日	2月17日	4月20日	4月20日	4月25日	4月25日
鹿児島県	2月10日	2月17日	2月29日	2月23日	4月20日	4月16日	4月25日	4月25日

※花粉シーズン開始日/終了日: 敏感な人に症状が開始する花粉飛散数10個/日を超えた日/飛散がなくなった日
 ※本格花粉シーズン開始日/終了日: 花粉症の症状が開始する花粉飛散数30個/日を超えた日/飛散がなくなった日

◆各エリアの見解

<p>北海道</p>	<p>飛散量は昨年の 110%、平年を上回る高温で一気に飛散量が増加</p>
<p>北海道のシラカバ花粉の飛散量は、昨年の 109%と多い結果となり、ツライ症状を感じる割合は全体の 21%と昨年よりも 8 ポイント多くなりました。北海道は 3 月～5 月にかけて平年より暖かい日が多く、ゴールデンウィークには札幌で 24℃、旭川では 25℃を超え、5 月下旬には道内で 30℃を超える日もあり、一気に飛散量が増加しました。飛散のピークは 4 月末～5 月上旬で、5 月中旬～下旬にも大量飛散したタイミングがありました。</p>	
<p>東北北部</p>	<p>飛散量は晴れた日本海側で平年の 75～100%と、太平洋側より多い傾向</p>
<p>東北北部の飛散量は、曇りや雨の日が多かった太平洋側では平年の約 35%と少なかったのに対し、晴れる日が多かった日本海側で平年のおよそ 75～100%と、日本海側の方が花粉の飛散が多い傾向となりました。春の暖かさで青森県では花粉シーズンインが昨年より 1 週間程度早まりました。飛散のピークは 3 月下旬～4 月上旬で、昨シーズンより 10 日程度遅くなりましたが、平年並かやや早いくらいのタイミングとなりました。(ヒノキは積雪に弱いため東北北部では育ちにくく、ヒノキ花粉はほとんど飛散しません。)</p>	
<p>東北南部</p>	<p>飛散の最大のピークは 3 月下旬～4 月上旬で、春の暖かさと強風で大量飛散に</p>
<p>東北南部の飛散量は、曇りや雨の日が多かった太平洋側では平年の 25～35%と少なかったのに対し、比較的晴れる日が多かった日本海側で平年の約 40%となり、日本海側の方が花粉が飛びやすい傾向となりました。飛散の最大のピークは 3 月下旬～4 月上旬で、気温の上昇と強風の影響で大量飛散となりました。ピークのタイミングは平年並ですが、昨シーズンに比べると 10 日前後遅くなりました。(ヒノキは積雪に弱いため東北南部では育ちにくく、福島県の一部に分布する程度です。東北南部ではヒノキ花粉はほとんど飛散しません。)</p>	

北陸

飛散量は平年の20~40%と少なめ、スギ花粉ピークは3月上旬~中旬

北陸の飛散量はシーズン全体を通してみると、平年の20~40%と少なかったものの、南風が強く吹いた日や、晴れて気温が上がったタイミングで飛散量が増加しました。スギ花粉のピークは3月上旬~中旬で、特に新潟県以外のエリアでは暖かさの影響で、昨シーズンより1週間程度早まりました。新潟県では、昨年並みかやや早くピークとなりました。北陸周辺にはもともとヒノキ林が少ないため、ヒノキ花粉の飛散量は少ない傾向ですが、4月上旬~中旬に飛散のピークを迎え、こちらも昨シーズンよりやや早い傾向になりました。



関東・甲信・東海

飛散量は平年の約20~60%にとどまるも、飛散はダラダラ続きツライ症状長引く

スギ花粉は暖冬の影響で飛び始めは早く、1月初め頃から症状を感じていた方もいましたが、花粉シーズンインは2月中旬、飛散のピークは2月下旬~3月中旬でした。ピークのタイミングは平年並かやや遅い程度でしたが、例年4月初めには飛散の終わりを迎えるスギ花粉が、今年は4月中頃まで飛び続けました。特に関東では比較的風が弱めで大量飛散の日が少なく、飛散量は平年のおよそ20~60%にとどまりましたが、4月中旬になってもダラダラと飛散が継続したためツライ症状が長引いた方が多かったようです。ヒノキの飛散ピークはほぼ平年並かやや遅い3月末~4月中旬でした。



<p>近畿・中国・四国</p>	<p>飛散量は平年の 10～65%にとどまるも飛散はダラダラ続きツライ症状長引く</p>
<p>近畿・中国(山口除く)・四国の飛散量は、昨年より少ない府県がほとんどを占めるものの、ツライ状態が昨年よりも長引きました。これは 4 月中旬になっても飛散量の多い日があり、特に山陽や四国ではヒノキの飛散量(4 月上旬～中旬)が、昨シーズンより多い傾向にあったことが理由に挙げられます。スギ花粉のピークは近畿で 3 月上旬～中旬、中国(山口除く)四国で 2 月末～3 月中旬、ヒノキ花粉は 4 月上旬～中旬で、昨年とほぼ同じでした。</p>	<p>近畿・中国・四国</p> <p>— 花粉数(個) — 症状</p> <p>ツライ 大丈夫</p> <p>2月 3月 4月 5月</p>
<p>九州</p>	<p>飛散量は北部で多く佐賀は昨年比 200%に、南部は 40%と少ない傾向</p>
<p>九州(山口含む)の飛散量は、福岡で昨年の 128%、佐賀で 207%と九州北部で多く、症状もツライ傾向となりました。九州北部で昨年より飛散量が多かった要因は、2015 年の夏が 2014 年夏よりも晴れたためと考えられます。一方、九州南部は 2014 年夏と同様に、2015 年夏も天候が不順で雄花の生育に不向きだったため、今シーズンの飛散量は昨年の 40%前後と少ない傾向となりました。スギ花粉のピークは 2 月末～3 月上旬、ヒノキ花粉は 3 月中旬～4 月上旬で、ピークの時期は昨年並みかやや遅い傾向となりました。</p>	<p>九州</p> <p>— 花粉数(個) — 症状</p> <p>ツライ 大丈夫</p> <p>2月 3月 4月 5月</p>

※ 表年:花粉飛散量が少ない年の翌年で、飛散量が多くなりやすい年

※ 裏年:花粉飛散量が多い年の翌年で、飛散量が少なくなりやすい年